



平成 28 年 7 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ラ ン ド
 代 表 者 の 代 表 取 締 役 社 長 松 谷 昌 樹
 役 職 氏 名 (コード番号 8918 東証第一部)
 問 合 せ 先 常 務 取 締 役 管 理 部 長 佐 瀬 雅 昭
 電 話 番 号 0 4 5 - 3 4 5 - 7 7 7 8 (代 表)

平成 29 年 2 月 期 (連結) 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 4 月 14 日付で未定として開示しております平成 29 年 2 月 期 (平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日) (連結) の通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 2 月 期 (連結) 通期業績予想数値の修正
 (平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 -	百万円 -	百万円 -	百万円 -	円 銭 -
今回修正予想 (B)	3,200	900	800	780	2.10
増減額 (B - A)	-	-	-	-	-
増減率 (%)	-	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 2 月 期)	852	△480	△683	△995	△2.69

(※) 平成 29 年 2 月 期 (連結) 業績予想数値の「1 株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる普通株式数については、平成 28 年 2 月 末日における発行済株式数 (自己株式を除く) 370,726,003 株を使用しております。

2. 平成 29 年 2 月 期 (連結) 業績予想数値の修正の理由

平成 29 年 2 月 期 (連結) の通期業績予想に関しましては、平成 28 年 4 月 14 日付「平成 28 年 2 月 期決算短信 (連結)」にて開示しました通り、不確実な要素が多かったため、一旦「未定」とさせていただいておりましたが、平成 28 年 6 月 1 日に発行 (平成 28 年 4 月 22 日決議) いたしました第三者割当増資 (以下「今回増資」といいます。) により調達した資金を有効活用し、複数の案件に取り組んでおり、それらの案件の内、今期中に売却が可能かどうかの目途が立ってきたことから、これらの影響額を精査し、今期の業績予想数値の概算額が判明したため、開示することといたしました。

具体的には、現時点で、売却済及び今期中に売却する方針の案件の収支を保守的に見積もった結果、売上高は約 32 億円となる見込みであります。

なお、平成 28 年 4 月 22 日付「第三者割当増資による種類株式発行及び新株予約権発行に関するお知らせ」にて割当先である EVO FUND の関係会社である EVOLUTION JAPAN アセットマネジメントとの間で、平成 28 年 5 月 18 日付で締結いたしましたファシリティ契約（以下「ファシリティ契約」といいます。）とは別枠で取り組む予定であった 関西圏の案件について、その取り組みスキームを変更して事業を進めることとし、これを今期中に売却する方針としたことから、当該案件の収支を保守的に見積もり、売上高予想に見込んでおります。

また、上記案件の売上原価、販売費及び一般管理費を積算し、今回増資における新株発行に係る費用及び今後新株予約権の行使が進んだ場合に発生する新株発行費用の概算額を営業外費用に見込んだ結果、営業利益は約 9 億円、経常利益は約 8 億円となる見込みであります。

さらに、既に開示しております子会社売却に伴う特別利益を計上した結果、当期純利益は約 7.8 億円となる見込みであります。

当社といたしましては、今期中に売却予定の案件に関しましては、少しでも収益性を向上させる努力を継続させるとともに、今回増資の割当先である EVO FUND に新株予約権の行使を進めていただき、さらに、ファシリティ契約を有効活用することで、事業資金を確保し、来期以降の案件を積極的に仕入れ、業績を拡大することで企業価値を高めてまいりたい所存であります。

以 上